

このたびは、弊社製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。
ご使用前に必ずこの説明書をよくお読みの上、正しくお使いください。
(この説明書は、必ず保管しておいてください。)

安全上のご注意

施工、使用（操作・保守・点検）の前に必ずこの説明書とその他の注意書きをすべて熟読し、正しくご使用ください。機器の知識、安全の情報そして注意事項のすべてについて習熟してからご使用ください。この説明書では、安全注意事項のランクを「警告」「注意」として区分してあります。

警告	回避しないと、死亡または重傷を招くおそれがある危険な状況を示します。
注意	回避しないと、軽傷または中程度の傷害を招くおそれがある危険な状況および物的損害のみの発生するおそれがある場合を示します。

● お守りいただく内容を次の図記号で区分しています。

してはいけない内容です。

実行しなければならない内容です。

なお、 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

■施工上のご注意

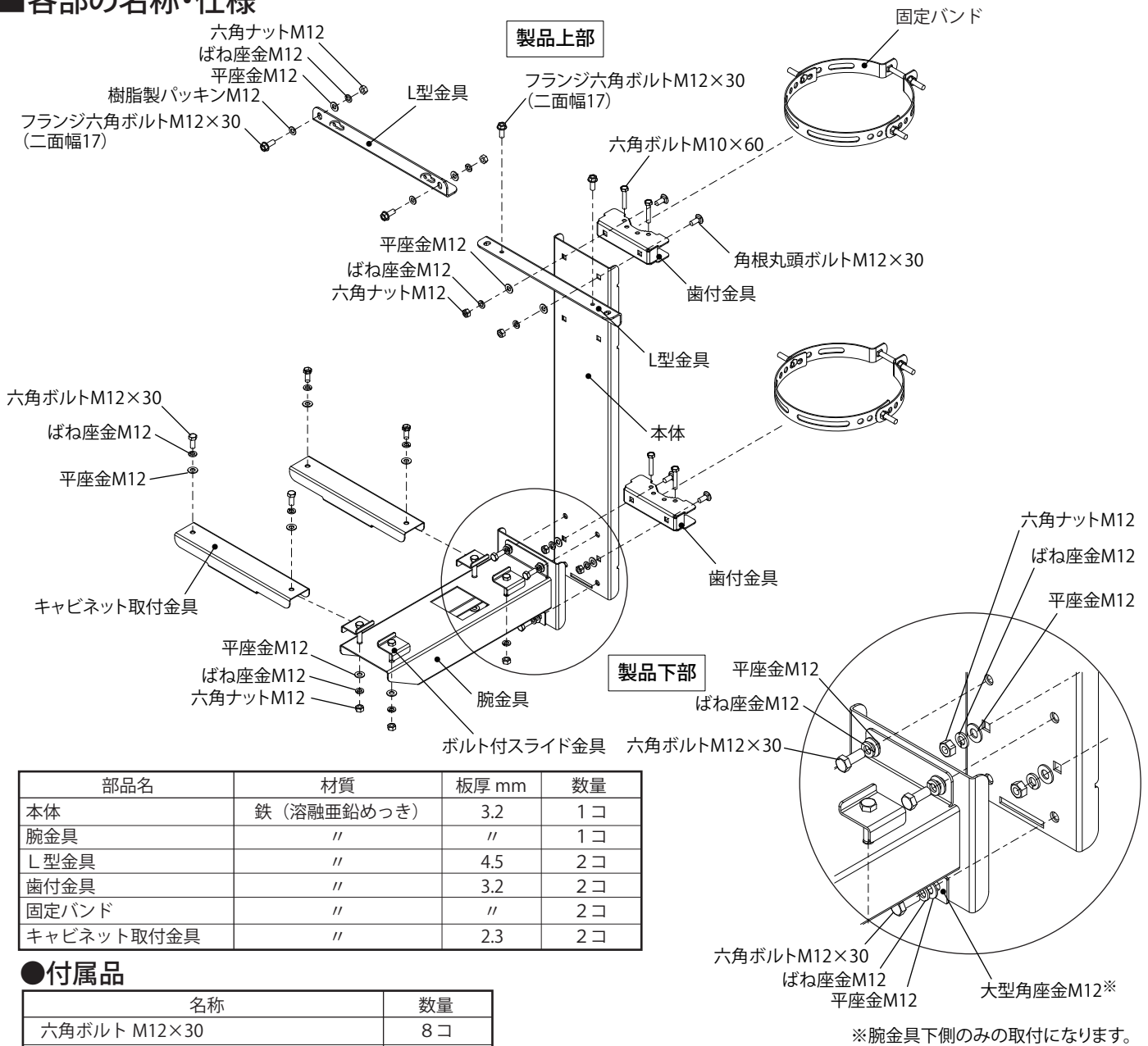
警告					
<p> 適用機種以外のキャビネットには使用しないでください。キャビネットが安定せず落下するおそれがあります。</p> <p>本製品でキャビネットを吊下げないでください。落下の原因になります。</p> <p>本製品の取付可能質量200kgを超過しないでください。変形・破損・落下の原因になります。</p> <p> ポール径に適合していない機種を使用しないでください。金具が滑り、落下の原因になります。</p> <p>キャビネットを取付ける際に、腕金具に大きな衝撃を加えないでください。金具の滑り・破損・落下の原因になります。</p> <p>歯付金具の取付向きを間違えて取付けないでください。ねじの不完全締結によりキャビネットが落下するおそれがあります。</p>	<p>ポール・コン柱は、強風時も想定した上で十分に強度があるものを使用してください。変形・破損・落下の原因になります。</p> <p>キャビネット取付時は、完全固定されるまでキャビネットを吊り上げた状態にしておいてください。強風時に、転倒・落下のおそれがあります。</p> <p>六角ボルトM10×60は歯付金具の上側から挿入して締付けてください。逆向きで取付けた場合、キャビネットが落下するおそれがあります。</p> <p> 使用するボルト、ナットは指定されたものを使用し、適正締付トルクで締付けてください。また、設置環境や使用状態によって、ゆるむおそれがあります。定期的に増締めしてください。締付けが不十分な場合落下、破損の原因となります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。</p> <table border="1" style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>ねじの呼び</td> <td>適正締付トルク N・m</td> </tr> <tr> <td>M12</td> <td>60</td> </tr> </table>	ねじの呼び	適正締付トルク N・m	M12	60
ねじの呼び	適正締付トルク N・m				
M12	60				
<p> 設置を行う際は、必ず2人以上で作業してください。けがの原因になります。</p>					

注意	
<p> 作業時は必ず軍手などの手袋を着用してください。素手で作業をすると、けがの原因になります。</p>	<p> L型金具の周囲およびボルト・ナットの固定部と取付穴のシーリング処理を確実にしてください。キャビネット内部への水浸入により、錆の発生や内部機器が破損するおそれがあります。</p>
<p> キャビネット本体が水平に設置できるようにレベル調整を行ってください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。</p>	

■使用上のご注意

警告	
<p> キャビネットを交換する際は、ポール用金具を再利用しないでください。長期使用による経年劣化で防錆性能が低下しているため、強度が低下しキャビネットが落下するおそれがあります。</p>	
注意	
<p> 本製品に落下などの強い衝撃を与えないでください。衝撃によりヘコみや歪みが発生し、強度低下の原因になります。</p>	

■各部の名称・仕様



部品名	材質	板厚 mm	数量
本体	鉄 (溶融亜鉛めっき)	3.2	1コ
腕金具	〃	〃	1コ
L型金具	〃	4.5	2コ
歯付金具	〃	3.2	2コ
固定バンド	〃	〃	2コ
キャビネット取付金具	〃	2.3	2コ

●付属品

名称	数量
六角ボルト M12×30	8コ
六角ナット M12	10コ
ばね座金 M12	18コ
平座金 M12	18コ
樹脂製パッキン M12	2コ
大型角座金 M12	2コ
六角ボルト M10×60	4コ
角根丸頭ボルト M12×30	4コ
フランジ六角ボルト M12×30(二面幅 17)	4コ
ボルト付スライド金具	4コ
取扱説明書(本紙)	1部

品名記号	適用キャビネット寸法 mm			適用ポール径 mm	適用機種	取付可能質量 kg
	ヨコ	タテ	フカサ			
RCPX-617-T	440 ~ 540	725	580 ~ 680	φ 120 ~ 170	タテ置タイプ RCP50-565T-□□□ RCP60-465T-F1	200 以下
RCPX-624-T	〃	〃	〃	φ 170 ~ 240		
RCPX-630-T	〃	〃	〃	φ 240 ~ 300		
RCPX-640-T	〃	〃	〃	φ 300 ~ 400		
RCPX-717-Y	640	675 ~ 775	680	φ 120 ~ 170	ヨコ置タイプ(H700 以下) RCP60-66Y-□□□ RCP60-67Y-□□□	
RCPX-724-Y	〃	〃	〃	φ 170 ~ 240		
RCPX-730-Y	〃	〃	〃	φ 240 ~ 300		
RCPX-740-Y	〃	〃	〃	φ 300 ~ 400	ヨコ置タイプ(H800 以上) RCP60-68Y-□□□ RCP60-69Y-□□□ RCP60-610Y-□□□	
RCPX-1017-Y	〃	875 ~ 1,075	〃	φ 120 ~ 170		
RCPX-1024-Y	〃	〃	〃	φ 170 ~ 240		
RCPX-1030-Y	〃	〃	〃	φ 240 ~ 300		
RCPX-1040-Y	〃	〃	〃	φ 300 ~ 400		

屋外用熱対策通信キャビネット【RCP】専用のポール用取付金具です。

■設置方法

⚠警告

⊘	歯付金具の取付向きを間違えて取付けないでください。ねじの不完全締結によりキャビネットが落下するおそれがあります。	!	使用するボルト、ナットは指定されたものを使用し、適正締付トルクで締付けてください。また、設置環境或使用状態によって、ゆるむおそれがあります。定期的に増締めをしてください。締付けが不十分な場合落下、破損の原因となります。また、締付け過ぎの場合は、ねじ山を破損するおそれがあります。				
!	六角ボルトM10×60は歯付金具の上側から挿入して締付けてください。逆向きで取付けた場合、キャビネットが落下するおそれがあります。 キャビネット取付時は、完全固定されるまでキャビネットを吊り上げた状態にしておいてください。強風時に、転倒・落下のおそれがあります。						
		<table border="1" style="width: 100%;"> <thead> <tr> <th>ねじの呼び</th> <th>適正締付トルク N・m</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>M12</td> <td>60</td> </tr> </tbody> </table>		ねじの呼び	適正締付トルク N・m	M12	60
ねじの呼び	適正締付トルク N・m						
M12	60						

⚠注意

⊘	作業時は必ず軍手などの手袋を着用してください。素手で作業をすると、けがの原因になります。	!	L型金具の周囲およびボルト・ナットの固定部と取付穴のシーリング処理を確実にしてください。キャビネット内部への水浸入により、錆の発生や内部機器が破損するおそれがあります。
!	キャビネット本体が水平に設置できるようにレベル調整を行ってください。ドアの開閉や機器の搭載に支障をきたすおそれがあります。		

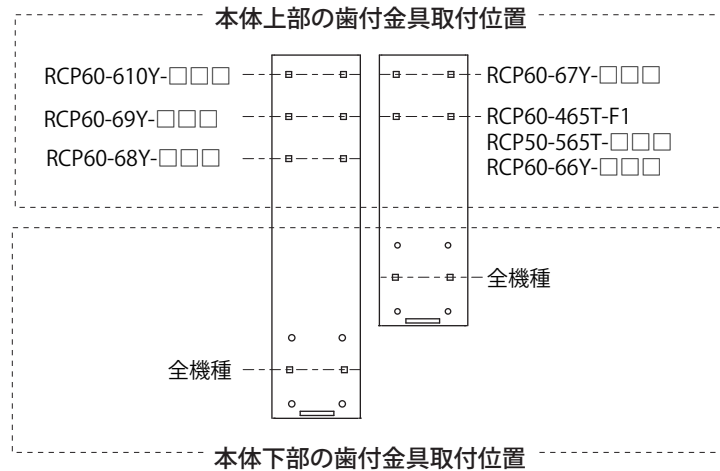
1. 歯付金具を本体に取付けてください。

【ご注意】 歯付金具はねじ穴と丸穴があります。ねじ穴を下側にし、本体の切欠に歯付金具を入れ込むように固定してください。

【本体上部】

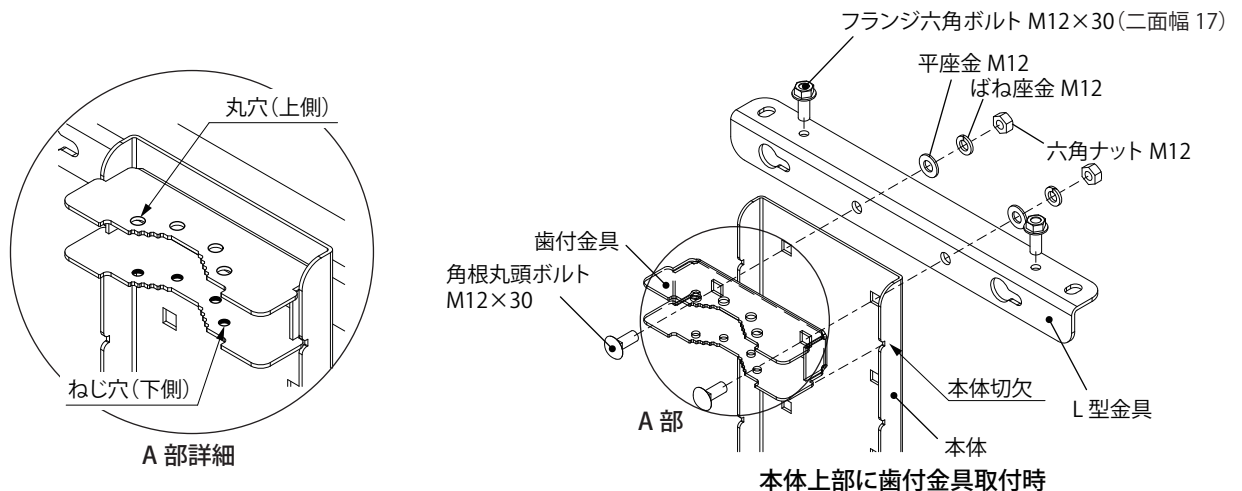
【ご注意】

本体上部の歯付金具取付位置はキャビネットの高さにより異なります。キャビネットの品名記号に合せて適正な位置に取付けてください。



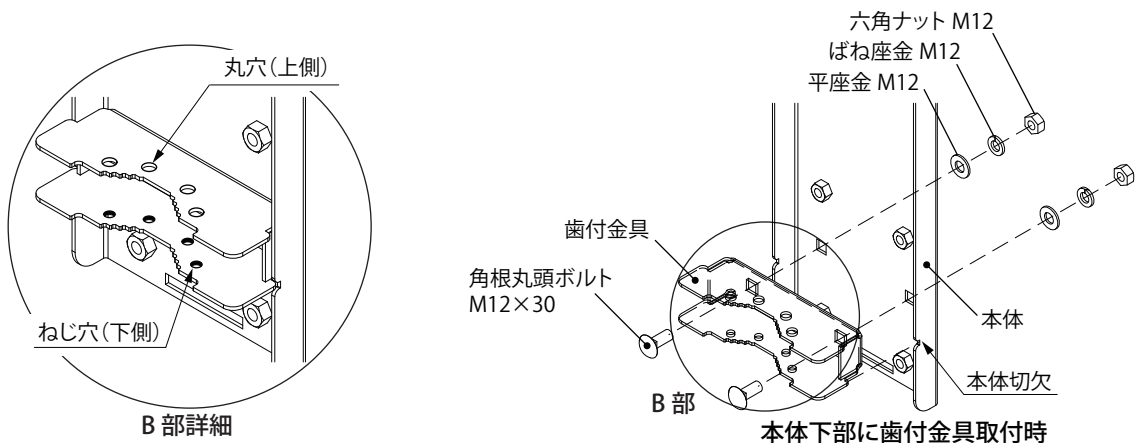
①本体にL型金具と歯付金具を、角根丸頭ボルト M12×30 にて固定してください。

②L型金具にフランジ六角ボルト M12×30(二面幅 17)を仮固定してください。



【本体下部】

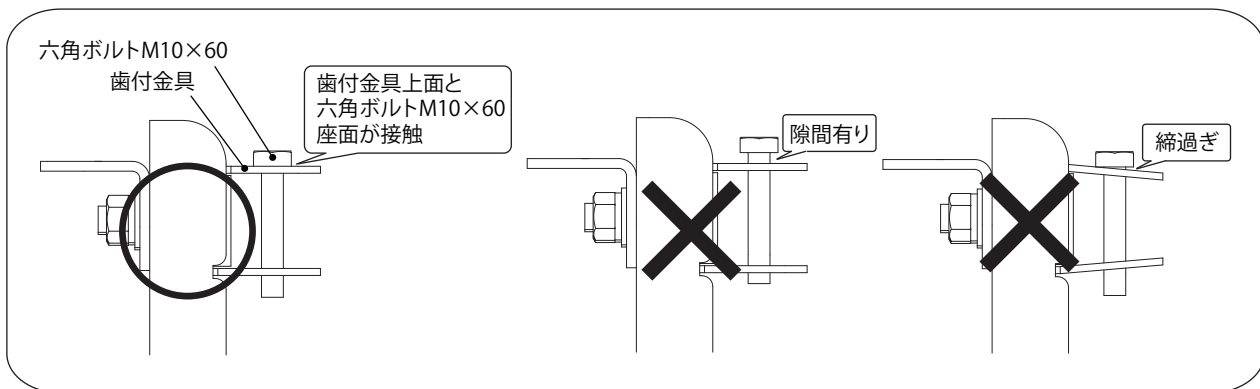
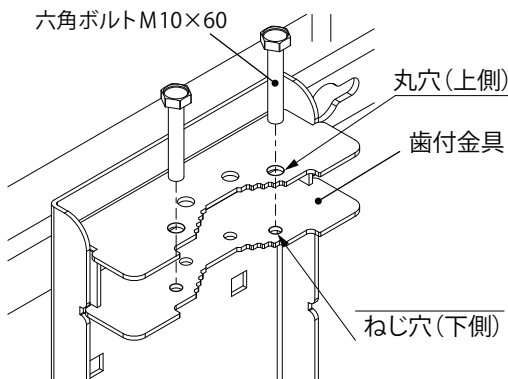
本体に歯付金具を角根丸頭ボルト M12×30 にて固定してください。



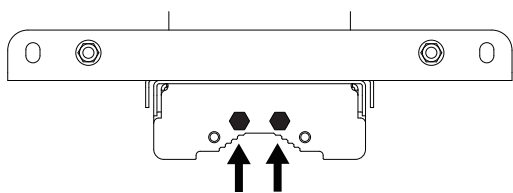
2. 本体上部と本体下部に取付けた歯付金具に六角ボルト M10×60 を歯付金具の上側にボルトの頭が来る向きで、歯付金具の上面にボルトの座面が接触するまで固定してください。(本体上部、本体下部に各 2 ヲ所)

【ご注意】

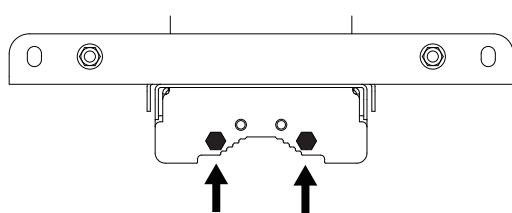
六角ボルト M10×60 の参考締付トルクは、25 ~ 30N・m です。ただし、歯付金具とボルトの座面に隙間がある場合は増締めをしてください。また、締め過ぎないように締めトルクを調整してください。



【ご注意】 六角ボルト M10×60 の固定穴はポール径により異なります。適正な固定穴に取付けてください。

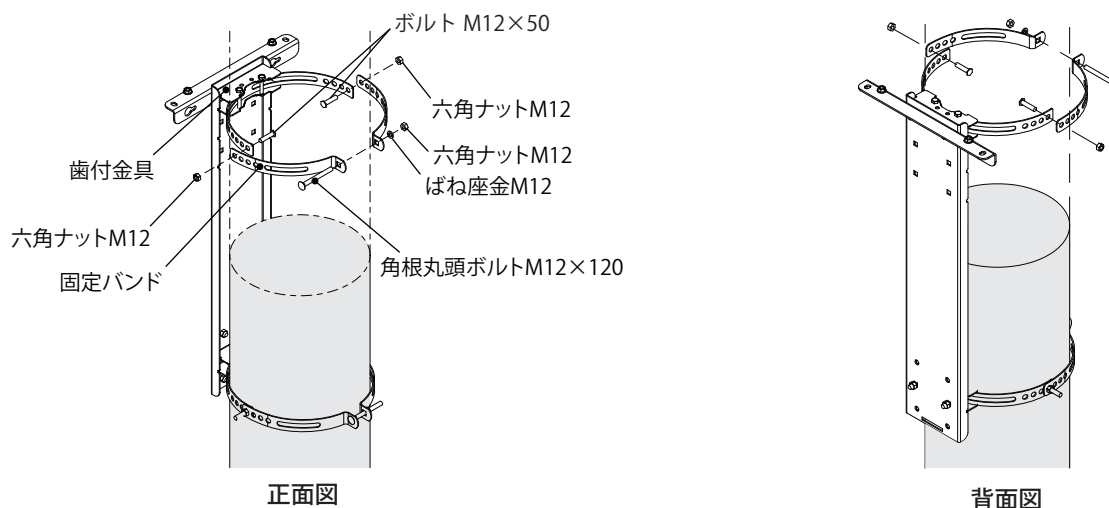


RCPX-□□17-Y(T)
ポール径 φ 120 ~ 170mm

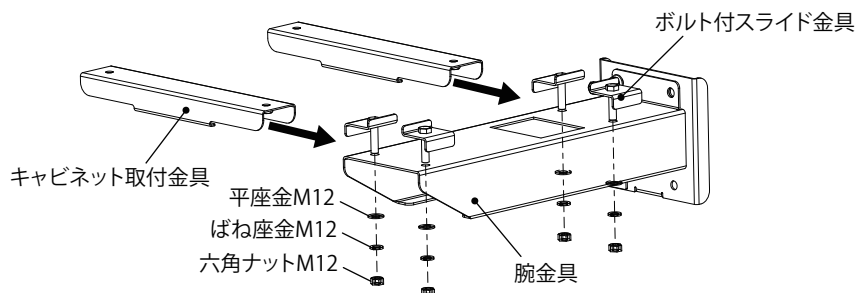


RCPX-□□17-Y(T) 以外の全機種
ポール径 φ 170 ~ 400mm

3. 本体上部、本体下部の歯付金具に、固定バンドを通して、本体をポールに取り付けてください。
 (固定バンド用のねじ部品は、固定バンドに取付いているものを使用してください。)

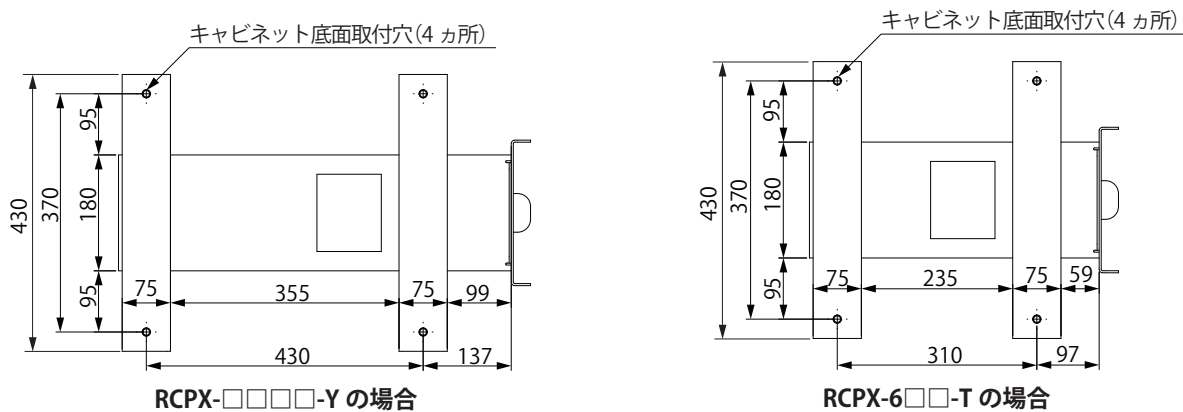


4. 腕金具にキャビネット取付金具を取付けてください。
 ①ボルト付スライド金具を腕金具へ、ボルトに六角ナットが掛かる程度まで締付けて仮固定してください。
 ②キャビネット取付金具をボルト付スライド金具の下に滑り込ませ 腕金具に取付けてください。
 その際、キャビネット底面取付穴(4カ所)の位置出しをしてから六角ナットを固定してください。

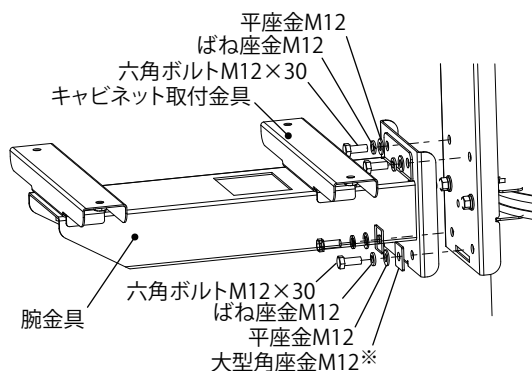


【取付寸法図】

(単位：mm)

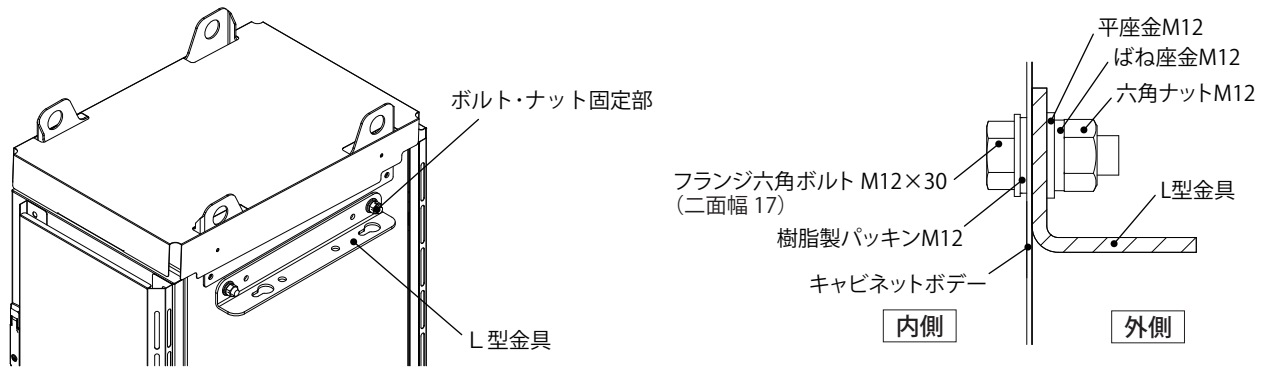


5. 本体の下部へ腕金具を取付けてください。



※腕金具下側のみの取付になります。

6. キャビネットの側面にL型金具を取付けてください。

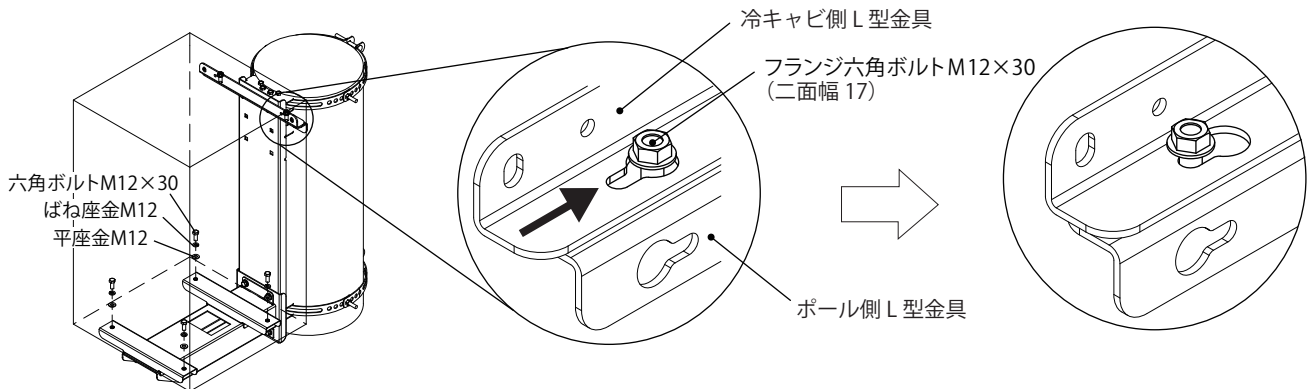


7. ポール用金具にキャビネットを取付けてください。

- ①ポール用金具のL型金具に仮固定したフランジ六角ボルト M12×30(二面幅 17)にキャビネットに取付けられたL金具のダルマ穴部を利用し仮位置決めをしてください。
- ②キャビネット底面のねじ(4カ所)を締付け、キャビネット取付金具に固定してください。
- ③L型金具のフランジ六角ボルト M12×30(二面幅 17)を締付けてください。

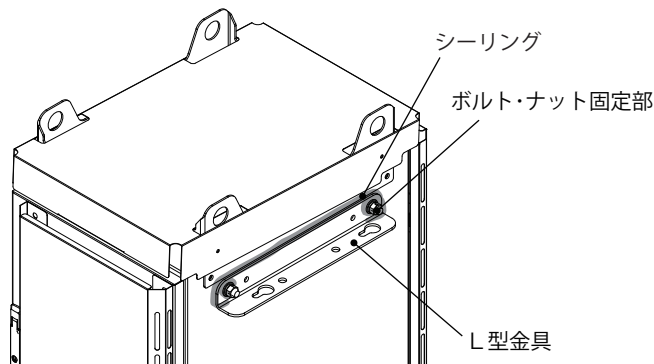
ご注意

キャビネット取付時は、キャビネットの取扱いにご注意ください。
 (「屋外用熱対策通信キャビネット【RCP】」取扱説明書(別紙)を参照してください。)



8. 1～7で取付けた全てのボルト、ナットの増締めを行ってください。

9. 冷キャビ側L型金具の周辺およびボルト・ナット部にシーリング処理をしてください。



MEMO

MEMO

仕様など、お断りなしに変更することがありますのでご了承ください。
また、ご不明な点がございましたら弊社お客様相談室にお問合わせください。
この説明書の内容は 2013 年 12 月現在のものです。

C461817920
SK-344